

秀作

2022

第55回「おかねの作文」コンクール

一円玉からわかる社会動向

東京都・町田市立鶴川第二中学校 3年 横野 悠輝

僕は小学生の頃から、貯金箱にコツコツとお小遣いを貯^ためている。特に、小さい時には1円玉をたくさん集めていた。ある日、発行年ごとに1円玉を並べていた。幼児がミニカーを並べて遊ぶように床一面に1円玉をしき詰めていった。なぜしき詰めたのか、理由は特にない。ただの好奇心なのか、ひまつぶしなのか、自分でもよくわからなかったが、とにかく並べてみた。1955年は0枚。1956年は1枚、1962年は3枚というように縦に年号がならび、その年ごとに横に棒グラフのように並べていった。全部で約600枚の1円玉が床にずらりと並んだ。きれいな1円玉、うす汚れた1円玉、表面が傷ついた1円玉、いろいろあるなあと思った。しかし、異変に思ったことが二つある。一つ目は、年ごとに枚数のばらつきがあることだ。中学に入ってから確率について学んだが、サイコロのどの目が出る確率も6分の1であると同じように、どの発行年も同じぐらいの枚数になると思っていたが、違った。よく見ると、1955年から2017年までを並べてみると、明らかに山のようなピークが三つ出来ている。最初の山は1965年、二つ目は1974年、そして三つ目の山は1990年だ。不思議なことに、山のピークになっている年を頂点として、その周辺の年はなだらかな曲線を描いている。本当に山そのものなのだ。そして、おや、と思ったことの二つ目は、近年の1円玉の数が少ないのだ。なぜだろうと思い、調査をしてみた。親に聞いたり、インターネットで調べたりしているうちに、おもしろい発見があった。小さな1円玉を通じて日本という国の社会情勢が見えてきた。

1円玉をはじめとして日本の貨幣は造幣局というところで造られる。造幣局のホームページを見ると、次のように書いてあった。「純正画一で偽造されない貨幣を、合理的な価格で安定的かつ確実に供給することを通じて、国民の貨幣に対する信頼の維持と国民生活の向上に寄与することを使命とする¹⁾。僕たちが毎日使っているお金は、生活の基礎になるものなので、きちんと流通する数をコント

ロールされて造られているようだ。ホームページをいろいろ見ていくと、年銘別貨幣製造枚数というデータがあるのを見つけた²⁾。1948年から2021年までの1円、5円、10円、50円、100円、500円、それぞれの硬貨の製造枚数が書いてあった。模造紙を持ってきて、左半分に自分の1円玉の個数を棒グラフで書いてみた。縦方向に年、横方向に枚数を書いてみた。横に伸びていく棒グラフだ。そして右半分に造幣局が公開している数字を同じように棒グラフにしてみた。僕の持っている枚数と造幣局の発行数は桁が違うので、最も多い1990年の28億枚が右端に来るように長さを調整してグラフを作成した。そして、左右のグラフで形が全く同じであることに驚いた。1990年は僕の1円玉の枚数が最も多い年だし、1965年と1974年も山の頂点がある年で、それもまったく同じだった。そして、最近の発行枚数が少ないという傾向も同じだった。

まず1965年、1974年、1990年に何が起きたのか、調べてみた。1965年は、「いざなぎ景気」という好景気が始まった年で、名古屋と神戸を結ぶ名神高速道路が全線開通した年だった。高速道路は今みたいにETCではなくてコインで支払っていたようなので、好景気で外に出る人たちが増える中でコインが多く必要とされていたのだと思った。僕の両親も生まれておらず、インターネット上の写真も白黒写真ばかりだった。次は1974年だ。この年は僕の両親が生まれた年だ。「第二次ベビーブームとってこの年に生まれた子供が多いんだよ。第一次ベビーブームはゆうきの祖父・祖母たちだけど、第三次ベビーブームは起こらなかった。」と聞いた。人が増えれば使うお金も増えるために発行数も多いのだろうと納得した。そして、最後に1990年。実は1989年と1990年が同じくらいの発行数なのだが、1989年に消費税3%が導入されたことが関係しているようだ。100円だったものが103円になる。当然1円玉が必要になる。今までは1コインで買えたものが消費税が入ってくると、中途半端な金額になるため、多くのコインが必要になるというわけだ。二つ目に疑問だった近年の発行枚数の減少も説明がつく。高速道路は、ETCで現金を使わなくなったし、電車やバスもICカードになった。僕はまだ子供だからコンビニやスーパーではコインを使ったりするが、親が使っているのはあまり見なくなった。そもそもコインを使うことが少なくなったので、発行枚数も少なくなっているのだろう。1円玉は造るのに3円かかると知ったが³⁾、それ以上に1円玉から日本の出来事とつながっていて、おもしろかった。

(注)

1)独立行政法人造幣局「使命」

URL https://www.mint.go.jp/about/profile/guide_mission.html

2)独立行政法人造幣局「年銘別貨幣製造枚数」

URL <https://www.mint.go.jp/media/2022/02/nenmeibetsuR3.pdf>

3)三菱UFJ信託銀行MAGAZINE「お金の原価を徹底解説！日本の紙幣や硬貨の原価は？世界の貨幣の原価は？」

URL <https://magazine.tr.mufg.jp/90130>

<参考文献>

・写真素材・動画素材のアフロ 出版・報道写真

URL <https://www.aflo.com/ja/editorial-images>

・『中学歴史資料集 学び考える歴史』浜島書店

